



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第 87 号

2011.4.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」  
の名前をつけています。

## も く じ

### おしらせ

－ 2011 年度の観察会日程が決定

### 活動報告

－ 早春のトレッキング

### 観察会案内

- － 霧ヶ谷湿原の整備
- － 山焼き後の雲月山植物観察会
- － カスミサンショウウオの産卵調査

## お し ら せ

### ● 2011 年度の観察会日程が決定

2011 年度の観察会日程が決定しました。おなじみの観察会あり、新たな試みの観察会もありと今年度も充実した一年になりそうです。問い合わせやお申し込みは、高原の自然館までお気軽にどうぞ。

2011 年

- 5 月 14 日 大瀆山の春植物観察会
- 22 日 ブナ林の野鳥観察会
- 6 月 10 日 夜のモリアオガエル観察会（豊平）
- 11 日 龍頭山の野鳥観察会
- 25 日 霧ヶ谷湿原の植生調査（夏）  
苅尾の昆虫観察会
- 7 月 10 日 霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会
- 16 日 ブッポウソウの観察会
- 24 日 こども観察会-自然で遊ぼう-
- 30 日 千町原 夏の草刈り
- 31 日 カワシンジュガイの観察会
- 8 月 7 日 可愛川の水生物観察会
- 9 月 17 日 霧ヶ谷湿原 秋のいきもの観察会
- 25 日 霧ヶ谷湿原の植生調査（秋）
- 10 月 8 日 キノコ観察会
- 10 日 サツキマス保全の試み
- 11 月 3 日 ゴギの観察会（大朝）
- 19 日 八幡高原の野鳥の観察会
- 23 日 千町原草原の保全活動  
- 樹木の伐採と草刈り -
- 未定 紅葉と冬芽の観察会
- 12 月 3 日 巣箱・かんじき作り

2012 年

- 1 月 15 日 冬を生きる動物たちの生態
- 2 月 19 日 雪原のトレッキング
- 3 月 18 日 早春のトレッキング

※日程は変更になる場合がありますので、毎回の苅尾電波塔にご注意ください。

## 観 察 会 報 告

### ●早春のトレッキング

開催日時 : 2011 年 3 月 19 日 ( 土 ) 10:00

講師 : 上野吉雄

例年だと雪も少なくなり湿原や草原が顔を覗かせる八幡高原も、今年は1メートル以上雪が残っています。早春のトレッキングは雪原のトレッキングとなりましたが、日差しは暖かく心地良い天候になりました。今回の講師である上野先生の案内で、おーいの丘から千町原へ向けて出発です。

雪原ということで参加者のみなさんはカンジキを履いてスタート。私を始め、ほとんどスタッフはカンジキを履かずそのままスタート…。この差はなんだろう？後ろから見ると不思議な感じでした。出発して直ぐにセツケイカワゲラを発見！上野先生から双眼鏡を反対にのぞけばよく見ると教わり、参加者は早速観察開始。「細部までよく見える！」という声を聞きながら、「双眼鏡、ひっくり返せば顕微鏡」と川柳が浮かんできました。その他にもクモやアブラムシ、トビムシも観察することができ、即席の顕微鏡で小さな生き物も詳しく見ることができました。食痕もハタネズミやウサギなどが見られ、その食痕の周りでは糞も見ることができました。ハタネズミの食痕は門歯の痕がはっきりと分かり印象的でした。

その他にもウサギの寝床やハタネズミの巣も見つかり、上野先生の話に参加者一同耳を傾け聞き入っていました。ハンノキの花芽は赤く、ネコヤナギの花芽も大きく、春は直ぐそこまで来てる様子も伺えました。残雪での早春のトレッキングでしたが、このギャップを体験できることは貴重な体験だったと思っています。私が一番印象に残ったもの…「道路にあったウサギの足跡」でしょうか？その先の150センチはあろうかという雪の壁を乗り越えた足跡…。ジャンプ力に驚きでした。[おくやまひでてる]



出発前、参加者はカンジキを履いて出発準備。履きなれて準備が早い！



最初にセツケイカワゲラが姿を見せてくれた。



双眼鏡を反対から見ると、顕微鏡に早変わり。



ハタネズミの食痕.



葉が落ちないカシワの葉. 雪原ではよく目立つ.



雪原を横並びに歩く…。「みんな付けたい, 自分の足跡」



真っ白の雪の中, 浮かび上がるハンノキの花芽の赤色が美しい.

### 【みなさんの印象に残った物】

「うさぎのねぐら」「虫を見たこと」「小さな虫達」「ネズミの穴」「トンネル」「セツケイカワゲラがいっぱいいたこと」「ウサギの食べ跡がたくさんあったこと」「ウサギの食べ跡が高い所にもあったこと」

### 【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「雪世界, 非日常の体験を今回もできてよかった すっかり春になった時また来たいと思います」「疲れました」「先生方のお話を聞きながら雪の中をゆっくり歩き, のんびりとした気持ちになれ楽しく過ごさせていただきました」「雪の多さに驚き, 草は春の用意をしているのに気付く」「ゆっくり観察できてよかった まだまだ雪は多いですがハンノキやヤナギの花が咲きそうで春を感じることができた」「楽しかった」「トビムシとセツケイカワゲラを双眼鏡で見るとすごく見えやすかった」「普段歩けないところを歩くことができて面白かった. 鳥が見れなかったのが残念. 昆虫がたくさん見れた」

## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット**：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳  
**作業セット**：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

### ● 霧ヶ谷湿原の整備

開催日時：2011年4月23日(土) 9:30  
集合場所：高原の自然館  
講師：自然再生協議会  
参加費：未定

広島県の自然再生事業によって湿原再生の工事が行われた霧ヶ谷湿原は、環境に従って植生が変化しつつあります。ただ、乾燥していた時に定着したカラコギカエデやノイバラは、少し湿ったくらいでは消えてゆかず、萌芽で再生しつつあります。今回の整備作業では、このような低木を伐採するとともに、湿原の中を歩きながら、春の様子を確認します。

### ● カスミサンショウウオの産卵調査

開催日時：2011年4月29日(金・祝) 9:30  
集合場所：高原の自然館  
講師：内藤順一  
準備：作業セット  
定員数：30名  
参加費：= 無料

霧ヶ谷湿原を中心にカスミサンショウウオの産卵状況を調査します。春先に卵を産むカスミサンショウウオは、ある特定の環境にしか現れません。卵のうを見つけ、数を記録することで、湿原の回復状況の目安にもなります。なかなか見られない成体にも、この時期なら出会えるかもしれません。

### ● 山焼き後の雲月山植物観察会

開催日時：2011年4月24日(日) 9:30  
集合場所：雲月山駐車場  
講師：大竹邦暁・佐久間智子  
準備：基本セット、弁当  
定員数：30名  
参加費：一般=300円  
賛助会員=100円  
正会員・中学生以下=無料

山焼き2週間後の雲月山を歩いて、火入れがどのように植物に影響を与えるかを観察します。真っ黒になった雲月山を歩き、ショウジョウバカマやスミレの仲間が咲いている春の姿をしっかりと見ましょう。なお、山焼きが中止になった場合でも、観察会は行います。



「これが最後の雪かな？」と今年は何度思ったことでしょう。3月下旬になっても雪は降り積もりました。底冷えのする日もありました。暖かさが待ち遠しい毎日ですが、少しずつ雪はとけ、春の気配も感じられるようになりました。家の背戸山のオウレンの花にはいつ会えるかな？楽しみです。(この)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)